

**令和6年第2回 岐南町議会定例会における
後藤友紀町長 所信表明【令和6年6月3日】**

令和6年第2回岐南町議会定例会の開催に先立ちまして、このたび上程いたします補正予算をはじめ、各般にわたる議案のご審議を願うにあたり、所信の一端を申し述べさせていただきます。

町長に就任しておよそ1か月半がたちましたが、皆さまのご期待にこたえるべく、多くの方々のご支援、ご指導の下、日々、全力で走り続けております。

私は岐南町12人目の町長であり、初めての女性町長として、誠心誠意、開かれたまちづくりに取り組んでまいる所存です。

また、私は子育て真っ最中の町長です。それ故、気付くこともあります。「放課後の子どもの居場所が足りていない」ことや、「子育てにかかる経済的負担の増加」「子育て世代のワーク・ライフ・バランスの難しさ」などです。

共働き世帯が、夫婦のいる世帯全体の約7割にも達するとの調査結果も出ている中で、私は子育て当事者の目線を持ちながら、町民の皆さまと心をつにして、一人ひとりが尊重される社会を目指し、前

進してまいります。

女性首長であることがマスコミでしばしば取り上げられていますが、憲法が保障する法の下での平等、年齢や性別、障害のあるなしなどにかかわらず、自分らしく暮らしていける、そうした人権が尊重される社会の実現に向けて、私たちは、たゆまぬ努力を続けていかなければなりません。

多くの人がどこかで疑問を感じながらも、当たり前のこととして受け入れてきたものの中に、男性中心の政治が見落としてきたもの、失ってきたものがあるのかもしれない。

これまでの経験が通用しなくなる、言い換えれば、経験にとらわれない発想が求められる時代の、新しい岐南町を、町民の皆さまと一緒につくっていきたいと願っています。

岐南町は、交通の利便性を生かし、昭和31年10月1日の町制施行以来、発展を続けてまいりました。しかしながら、少子高齢化が進展する中で、まちの活力である人口の減少局面は、近い将来、確実にやっけてまいります。

そうであっても、先人により築かれた「選ばれるまち」であるとい

う誇るべき地位を譲ることなく、すべての町民が夢や希望を抱き、笑顔にあふれ、幸せを実感できる「住んでよかったまち」を実現することが、私の使命だと思っております。

私は230人の職員を束ねるリーダーとして、政治による政策決定を支える行政が、常に公平・公正な業務の執行ができるよう、すべての職員が、町民に信頼される存在であり続けなければならないと考えています。

一人ひとり置かれた状況の異なる町民のために、さまざまな業務に携わる職員が、持てる力を最大限に発揮できるよう、コンプライアンスの実践による職場環境の改善と、あるべき組織の管理体制の構築を進めてまいります。

公約でありますハラスメント防止条例の制定は、この取組の第一歩でございます。

このたびの町長選において、私は具体的ないくつかの公約を掲げておりますが、町民との約束である公約は、ごく限られた支援者や一部の団体の声であってはなりません。

また、私は議員当時、町の政策実施に至るプロセスにおいて、議会

への説明がまったく不十分で、議案の提出もたびたび唐突であり、強く善処を求めてきたことを忘れておりません。

このままでは、行政がゆがめられてしまう。私と同じように感じておられた議員もいたのではないのでしょうか。

公約実現に向けてのプロセスは、多様な視点で現状を的確に把握することから始め、課題に対する事業の目的をシンプルかつ明確にし、中長期的なビジョンを持ち、さらに、だれの目から見ても明らかな合理的根拠（エビデンス）を積み重ね、町民の皆さまに丁寧な説明を行い、ご意見をいただきながら進めていく、そういうものであると私は考えます。

すでに実施している各種事業につきましても、順次、点検を行ってまいります。「今の内容でニーズに対応できているか？」「本町の規模に合ったものか？」「もはやその役割を終えていないか？」「継続は可能か？」など、しっかりと見極め、ビルド・アンド・スクラップにも取り組んでまいります。

これからますます、社会の変化のスピードは速まっていくと思わ

れますが、先ほどから申し上げている「エビデンス」と「プロセス」を最も重視し、私の想いである公約を、事業というカタチにしてまいります。

さらに、まちづくりは他人事ではなく自分事として感じてもらい、わがまちの素晴らしさを分かち合い、ふるさとに誇りを持っていただけるよう、町内外に向けて、分かりやすく、受け取りやすい情報発信にも努めてまいります。

言うまでもなく、まちづくりの主役は町民であり、町民による主体的なまちづくりが、持続可能なまちの未来を切り開くものと、私は信じて疑いません。こうして、町民の想いも、カタチになっていくのではないのでしょうか。

職員と一丸となって、このコンパクトタウンの強みや価値を、もっと高める取組を推進してまいります。

本年度はこうした準備を着実に進め、新規事業については投資効果や緊急性を考慮しつつ、令和7年度からの公約の事業化に向けて、全力を傾注してまいる所存です。

議会におかれましては、十分にご審議を賜りまして、適切な議決を

いただきますようお願い申し上げます。

当選の報を受け、まちが変わることを選んだ町民の思いを知り、その期待の大きさと、町長としての重い責任を深く感じました。

その気持ちをいつまでも大切に、町民最優先のまちづくりを貫いてまいりますので、議会、町民の皆さまのなお一層のご協力をお願い申し上げます。

ご清聴、誠にありがとうございました。